

天空をも焦がす狂熱の炎  
恐れ知らずの鳥羽男、勇猛果敢な挑戦が今始まる。

国指定重要無形民俗文化財

天下の奇祭

# 鳥羽の火祭り

撮影：椎名 誠

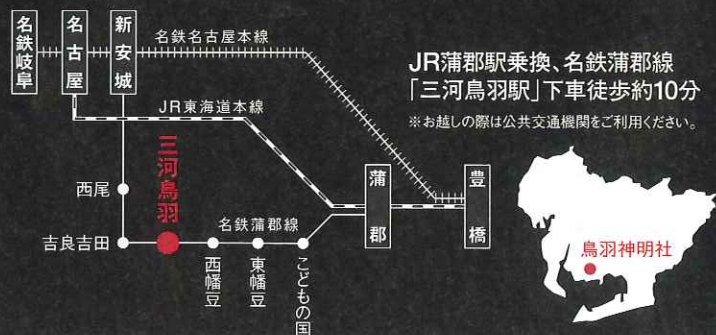
毎年2月・第2日曜日

鳥羽神明社 愛知県西尾市鳥羽町

お問い合わせ

西尾市観光協会 TEL 0563-56-2111

<http://www.240kanko.com> 主催 ● 鳥羽火祭り保存会 / 発行 ● 西尾市観光協会



日本の  
10大  
火祭り



起源

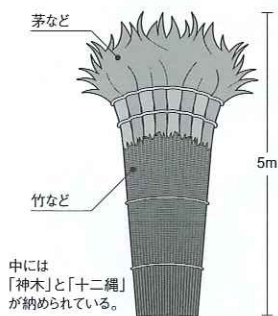
鳥羽の火祭りは、約1,200年前から伝えられ、平成16年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

この祭りのシンボルである「すずみ」は、竹や茅などで作られ高さ5メートル、重さ2トンを、中には「神木」と1年を表す「十二縄」が納められ、祭りの前日に氏子達の手によって2基作られます。

祭り当日は、火打ち石の小さな炎を次第に大きくして「すずみ」に点火されます。神主の合図で「福地」と「乾地」のふたつの地区に分れた奉仕者が神男を中心にして燃え上がる炎の中に勇敢に飛び込み、神木と十二縄を競って取り出し、神前に供えます。

奉仕者は、特別な祭り装束をまとい、すずみをゆらすその姿・形から「ネコ」と呼ばれています。

「すずみ」の燃え具合と「福地」「乾地」の勝敗によって、その年の天候、豊凶を占う神事です。



行事予定

【前日】13:00 ●境内にて「すずみ」作りが始まる。

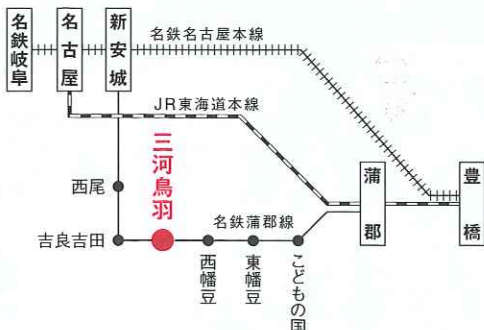
【当日】15:00頃 ●神男と奉仕者が神明社から海へ「みそぎ」に出発する。

15:30頃 ●寒風のなか裸で海に入り身を清める。

19:30頃 ●神前で神事が始まる。

20:00頃 ●火打ち石の火が「すずみ」に点火される。

20:30頃 ●神木、十二縄が神前に供えられ祭りは終了する。



天空をも焦がす狂熱の炎  
恐れ知らずの鳥羽男、勇猛果敢な挑戦が今始まる。

天下の奇祭  
鳥羽の  
火祭り

国指定重要無形民俗文化財



【凡例】

- みそぎ順路
- 三河鳥羽駅から神明社への順路
- P 臨時駐車場(祭り当日のみ)
- 飲食店

鳥羽神明社	約1km	三河鳥羽駅	約300m	みそぎ会場
	徒歩約10分		徒歩約3分	

鉄道をご利用の場合  
名鉄蒲郡線 三河鳥羽駅下車  
徒歩約10分

お車をご利用の場合  
〈東名高速道路・音羽蒲郡ICから〉  
三河湾オレンジロード▶国道23号▶  
国道247号 約40分  
〈東名高速道路・岡崎ICから〉  
県道26号▶国道248号▶国道247号 約60分



お問い合わせ

西尾市観光協会 TEL.0563-56-2111

<http://www.240kanko.com>

主催 ● 鳥羽火祭り保存会 / 発行 ● 西尾市観光協会